

道路陥没 住民避難

調布 地下で外環道工事

18日午前11時45分ごろ、東京都調布市東つじヶ丘2の市道で、道路が陥没している。NECCO東日本（東京都）から調布市に連絡があった。この道路の地下では東京外環自動車道（外環道）のトンネル工事が行われており、同社は工事を一時中止することを明らかにした。警視庁調布署などが工事との関連の有無などを調べている。

同署によると、陥没

によるけが人はいなかった。穴は長さ5メートル、幅2・5メートルの大きさで深さは約5メートル。道路を横切る形で陥没しており、車などは通過できない状態になっている。

同社が近隣住民に呼びかけ、9世帯が避難した。

調布市によると、外環道の工事は地下40メートル深いところで行われていたという。同社は近く、有識者会議を開いて原因を調査する方針。

現場は家主頼つじヶ丘駅から約400メートルの住宅街。近くに住む無職、大村匡夫さん(57)は「こんな事態になるなんて、とんでもないこと。何が起きているのか調査してほしい」と訴えた。【道下 麻子、金志高】

